

III

学部・研究科等による 取組み

III-5 通信教育部

通信教育部学年暦 245

通信教育部 247

通信教育部レビュー

- 1 学生の受け入れ（在籍管理）
- 2 教育課程
- 3 学生支援

2014(平成24)年度 通信教育部 学年暦

4 月			5 月			6 月		
1	火	在学生 授業料納付開始(進級者および分納者) 4月25日(金)まで	1	木		1	日	
2	水		2	金		2	月	
3	木		3	土	憲法記念日 スクーリング②(5/3～5/5)	3	火	
4	金		4	日	みどりの日	4	水	
5	土		5	月	こどもの日	5	木	
6	日		6	火	振替休日	6	金	
7	月		7	水		7	土	
8	火		8	木		8	日	
9	水		9	金		9	月	
10	木		10	土		10	火	
11	金		11	日		11	水	
12	土		12	月		12	木	
13	日		13	火		13	金	
14	月		14	水		14	土	教育実習事前指導
15	火		15	木		15	日	
16	水		16	金		16	月	
17	木		17	土		17	火	
18	金		18	日		18	水	
19	土		19	月		19	木	
20	日		20	火		20	金	
21	月		21	水		21	土	
22	火		22	木		22	日	
23	水		23	金		23	月	
24	木		24	土		24	火	
25	金	在学生授業料納付締切日(進級者および分納者)	25	日	オンライン試験① 会場単位認定試験①	25	水	
26	土	スクーリング①(4/26～4/28)	26	月		26	木	
27	日		27	火		27	金	
28	月		28	水		28	土	
29	火	昭和の日	29	木		29	日	オンライン試験② 会場単位認定試験②
30	水		30	金		30	月	
			31	土				
7 月			8 月			9 月		
1	火		1	金	在学生(正科コース生を含む10月入学生) 進級手続き: 次年度の履修登録開始8月25日(月)まで	1	月	事務部休業(9/1～9/4)
2	水		2	土	スクーリング④(8/1～8/2)	2	火	
3	木		3	日	教育実習事後指導	3	水	
4	金		4	月	スクーリング⑤(8/3～8/5)	4	木	
5	土		5	火		5	金	スクーリング⑩(9/5～9/7)
6	日		6	水	スクーリング⑥(8/6～8/8)	6	土	
7	月		7	木		7	日	
8	火		8	金		8	月	
9	水		9	土	スクーリング⑦(8/9～8/11)	9	火	
10	木		10	日		10	水	
11	金		11	月		11	木	
12	土		12	火	スクーリング⑧(8/12～8/14)	12	金	
13	日		13	水		13	土	スクーリング⑪(9/13～9/15)
14	月		14	木		14	日	
15	火		15	金	スクーリング⑨(8/15～8/17)	15	月	敬老の日
16	水		16	土		16	火	
17	木		17	日		17	水	
18	金		18	月	スクーリング⑩(8/18～8/20)	18	木	
19	土	スクーリング③(7/19～7/21)	19	火		19	金	
20	日		20	水		20	土	教育実習事前指導
21	月	海の日	21	木	スクーリング⑬(8/21～8/23)	21	日	
22	火		22	金		22	月	
23	水		23	土		23	火	秋分の日
24	木		24	日	オンライン試験④ 会場単位認定試験④	24	水	
25	金		25	月	進級手続き 履修登録締切日(厳守)	25	木	
26	土	単位認定試験① 地方会場	26	火	スクーリング⑫(8/25～8/27)	26	金	
27	日	オンライン試験③ 会場単位認定試験③	27	水		27	土	
28	月		28	木		28	日	オンライン試験⑤ 会場単位認定試験⑤
29	火		29	金		29	月	
30	水		30	土	スクーリング⑬(8/28～8/30)	30	火	
31	木	スクーリング④	31	日	事務部休業(8/30～8/31)			

10 月			11 月			12 月		
1	水	在学生 授業料納付開始 (進級者および分納者)	1	土	スクーリング⑦ (11/1～11/3)	1	月	
2	木		2	日		2	火	
3	金		3	月	文化の日	3	水	
4	土		4	火		4	木	
5	日		5	水		5	金	
6	月		6	木		6	土	教育実習事後指導
7	火		7	金		7	日	
8	水		8	土	教育実習事前・事後指導	8	月	
9	木		9	日		9	火	
10	金		10	月		10	水	
11	土	スクーリング⑥ (10/11～10/13)	11	火		11	木	
12	日		12	水		12	金	
13	月	体育の日	13	木		13	土	単位認定試験③ 地方会場
14	火		14	金		14	日	オンライン試験⑥ 会場単位認定試験⑥
15	水		15	土	単位認定試験② 地方会場	15	月	
16	木		16	日	オンライン試験⑦ 会場単位認定試験⑦	16	火	
17	金		17	月		17	水	
18	土		18	火		18	木	
19	日		19	水		19	金	
20	月		20	木		20	土	
21	火		21	金		21	日	
22	水		22	土	スクーリング⑧ (11/22～11/24)	22	月	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火	天皇誕生日
24	金		24	月	振替休日	24	水	事務部休業 (12/24～12/31)
25	土	在学生 授業料納付締切日 (進級者および分納者)	25	火		25	木	
26	日	オンライン試験⑥ 会場単位認定試験⑥	26	水		26	金	
27	月		27	木		27	土	
28	火		28	金		28	日	
29	水		29	土		29	月	
30	木		30	日		30	火	
31	金					31	水	
1 月			2 月			3 月		
1	木	元旦 事務部休業 (1/1～1/4)	1	日	在学生 (正科コース生を含む4月入学生) 進級手続き 次年度の履修登録開始 2月25日(水)まで	1	日	
2	金		2	月		2	月	
3	土		3	火		3	火	
4	日		4	水		4	水	
5	月		5	木		5	木	
6	火		6	金	スクーリング⑨ (2/6～2/8)	6	金	
7	水		7	土		7	土	
8	木		8	日		8	日	
9	金		9	月		9	月	
10	土	スクーリング⑩ (1/10～1/12)	10	火		10	火	
11	日		11	水	建国記念日	11	水	
12	月	成人の日	12	木	スクーリング⑪ (2/12～2/14)	12	木	
13	火		13	金		13	金	
14	水		14	土		14	土	
15	木		15	日		15	日	
16	金		16	月	オンライン試験⑩ 会場単位認定試験⑩	16	月	
17	土		17	火		17	火	国際コミュニケーション学部 卒業式 (埼玉キャンパス)
18	日		18	水		18	水	
19	月		19	木		19	木	
20	火		20	金		20	金	
21	水		21	土		21	土	春分の日
22	木		22	日		22	日	
23	金		23	月		23	月	
24	土	教育実習事前・事後指導	24	火		24	火	
25	日	オンライン試験⑩ 会場単位認定試験⑩	25	水	進級手続き 履修登録締切日 (厳守)	25	水	
26	月		26	木		26	木	
27	火		27	金		27	金	
28	水		28	土		28	土	
29	木		29	日		29	日	
30	金					30	月	
31	土					31	火	

平成26年度 通信教育部 レビュー

1. 平成26年度 振り返り

平成25年度からの国際コミュニケーション学部人間環境学科の学生募集停止と同時に、同学部同学科を基礎学科とする通信教育課程も学生募集を停止していることから、在籍学生一人ひとりの学習研究目的を可能かつ希望する学習計画に沿って円滑に達成できるよう学習環境の改善に注力した。

具体的な取り組みとしては、昨年度実施した①オンライン試験の拡充、②スクーリング開講日程の増加等の学習環境の改善を継続した。また、希望学生を対象に平成27年度から他大学において学修を継続できるよう、通信教育部学則第35条に基づき希望転学制度を創設した。

そのほかに、教育実習対策として、過去の教育実習受入れ校を対象に実施した今後の実習生受け入れ等に関するアンケート調査の結果を利活用し、教育実習の早期履修を促した。また、資格取得と卒業後の支援活動として、新任教員養成講座を行った。

2. 次年度への課題、方策

学生一人ひとりの学習研究目的を可能かつ希望する学習計画に沿って円滑に達成し卒業できるよう、次年度も学習環境の改善に注力することが喫緊の課題である。

1 学生の受け入れ（在籍管理）

関連委員会	運営会議
関連部署	通信教育事務部
関連データ	

1 平成26年度 活動方針・目標

ACTION PLAN

- (1) 平成25年度からの国際コミュニケーション学部人間環境学科の学生募集停止と同時に、学部同学科を基礎学科とする通信教育課程も学生募集を停止している。
- (2) 教育提携校の科目等履修生についても受け入れを停止している。

2 具体的計画

PLAN

- (1) 全ての学生の受け入れについて新規受け入れは行わない。
- (2) 在籍管理について、学生一人ひとりの学習研究目的を可能かつ希望する学習計画に沿って円滑に達成できるようにする。

3 取組状況

DO

- 目標1に対して
特になし。
- 目標2に対して
在学期間、単位修得状況、スクーリング科目の単位修得状況等の卒業要件に鑑み、卒業できる可能性が見込まれる学生を把握し、その実現を図る。
通信教育部学則第35条に基づき希望転学制度を設け、希望学生を対象に平成27年度から東京未来大学での学修の継続を促す。

4 点検・評価

CHECK

- 目標1に関して
特記事項なし。
- 目標2に関して
単位修得が芳しくない学生に対して電話とメールによる学習指導や相談を行った。また、希望転学制度に基づく学修の継続を助言した。

5 次年度に向けた課題

ACTION

- 目標1に関して
課題：特記事項なし。
- 目標2に関して
課題：在学生全体を対象に修学目的、学習計画および達成意思を再確認し、就学期間内における円滑な単位修得と卒業までの学習支援をする。他方、希望転学制度に基づく学修の継続も視野に入れて学習支援を行う。

以上

2 教育課程

関連委員会	教学委員会
関連部署	通信教育事務部
関連データ	

1 平成26年度 活動方針・目標

ACTION PLAN

(1) 現行の教育組織を基本に、教育活動を展開する。

2 具体的計画

PLAN

- (1) 授業アンケートの実施とアンケート結果に基づく授業改善を実施し教育の質の維持向上を図る。
 (2) 学生への修学支援を実施する。

3 取組状況

DO

1. 目標1に対して

通信教育部では、Webを利用したシステムを活用することにより学修の利便性の向上を図っており、授業アンケートについてもWebを利用したシステムを活用して単位認定試験後に必ず実施している。単位認定試験を年間6回実施していることから通年を対象に授業アンケート結果をとりまとめ、授業内容の評価を把握するとともにその結果に基づいて更に学習内容やシラバス等の一層の向上を図ることとしている。

2. 目標2に対して

- ① 通信教育による学習においては、日常的な社会生活の中で印刷教材等に基づいて自学自習を重ねていくことが基本になっており、授業への主体的参加に対する学生の高い意欲に対してきめ細かく対応している。
- ② 入学・進級時において配布する「シラバス」、Eメール・電話等による問い合わせ等により履修登録段階で学漕の目的、到達目標、進め方等について理解できるようにしている。
- ③ 履修段階でも学習上の疑問や相談に対してEメール・電話等により回答・助言を行える体制を整えている。
- ④ また、Webシステムを活用したテストを受験することにより学習の到達度を自己判断し、また各問題に関する解説等に基づいて継続的な学習を行うことにより更に理解を深めることが可能となるようになっている。
- ⑤ Webシステム上のポートフォリオに基づいて学修状況全般を振り返り、今後の学習計画の検討への活用を促している。
- ⑥ 通信教育の基本は自学自習であることから孤独な学習になりがちであり、在学中の学生のためのWEB上に同じ目的で履修する学生同士の情報交換の場を設け、積極的に活用することとしている。
- ⑦ 学生個人が学習を進めるためのガイド的な役割を果たすことを企図して、個々の授業に関しても情報交換の場を設けている。
- ⑧ 免許・資格の取得に向けて、学習のてびき内による適切な指導を行う。また、資格について関連団体への連絡と調整を行った。

4 点検・評価

CHECK

1. 目標1に関して

授業アンケートの実施結果を踏まえて、今後も、委員会等の審議を順次重ねて、授業改善に取り組むこととしている。

2. 目標2に関して

今後も、委員会等の審議を順次重ねて、修学支援に取り組むこととしている。資格について関連団体への調整が行われ、通信教育部の学生が滞りなく学習ができるようになった。

5 次年度に向けた課題

ACTION

1. 目標1に関して

課題：テキスト科目の単位認定試験受験機会、およびスクーリング科目の受講機会の維持を図る。

2. 目標2に関して

課題：学生一人ひとりの目標に沿った学習計画の見直しや策定、達成支援を実施する。

以上

3 学生支援〔学生厚生〕

関連委員会	教学委員会
関連部署	通信教育事務部
関連データ	

1 平成26年度 活動方針・目標

ACTION PLAN

(1) 現行の教育組織を基本に、教育活動を展開する。

2 具体的計画

PLAN

既に学生募集停止をしているが、限られた就学期間内で学習目標を達成させるために、平成25年度におけるスクーリング開講数を維持する。

3 取組状況

DO

現状の教員組織を維持しながら取り組む。

4 点検・評価

CHECK

円滑にスクーリングを実施することができた。

5 次年度に向けた課題

ACTION

スムーズな設置廃止のため、在籍者の卒業要件充足をさらに支援できる教員組織への再編を図る。

以上